



エヌ・イー・ピー単三電池パック LCR-1

AVテクニカルライター 稲田 出

小型照明ライトは長年タングステンタイプのものが使われてきたが、最近は小型・軽量、低消費電力の白色LEDを採用した製品も使われだした。こうしたライトの電源は、従来から使われているほど容量がなくても長時間使うことができるようになってきている。エヌ・イー・ピーでは、従来の灯体に装着できるLEDランプも販売しているが、バッテリーが従来のままだとせっかくの小型・軽量、低消費電力というLEDライトの特徴が活かされないという実にもったいない話になる。LCR-1は、単三電池8本を収納できるボックスにキャノンコネクターが装備された電源パックで、こうしたライトの電源として重宝するアイテムだ。

さらに、イレギュラーな使用法とは思いますが、キャノンコネクターが装備されたLCDモニターやコンバーターなどのビデオ機器にも緊急用の電源として活用することも可能だ。ただし、単三電池の電気容量は、電池の種類にもよるが、最大でも1Ahほどなので、ビデオカメラなど2Ahほどにもなるビデオ機器に使うには無理があるだろう。

今回は同社のLEDビデオライトや小型LCDモニター



今回使用したライトXD-L168とキャノンコネクター仕様のLCR-1(右下)。小型・軽量で取り回しも良い

さまざまな用途で使用できるLCR-1

の電源として使ってみたが、LCR-1はバッテリー込みでも250gほどの質量しかないので、取り回しも良く機動性のある使用感であった。

ビデオ機器は、ランニングコストや電気容量の関係から充電式のバッテリーを採用していることが多いが、こうした充電式のバッテリーは、使用回数や経年劣化などにより、フル充電した状態でも実際に使用できる時間は個体差があり、はっきりわからないのが現状だ。外観や使用年数などで、ある程度推測ができるものの充電式のバッテリーは使ってみなくてはわからないという博打的な部分があるのは否定できない。

単三電池を採用したLCR-1は、こうした充電式のバッテリーのバックアップとしてもカメラバックの中に1つ入れておくといざというときに役立つと思う。なにより、汎用性の高い単三電池なので、ロケ先などで急に必要になったときでも近所の電気店やコンビニなどで調達できるのは心強い。

業務用ビデオの業界では、バッテリーといえば、長年BP-90やNP-1がデファクトスタンダードとなっていたが、最近ではVマウントバッテリーにその座を奪われつつある。一方、ビデオ機材は省電力化が進み、必ずしもこうしたバッテリーを電源として使用しなくても間に合う場合も多々ある。LCR-1は、LEDライトや緊急用のバックアップとしてという使い方だけでなく、コンバーターやLCDモニターの電源としても活躍する場面があると思う。

なお、同社ではキャノンコネクタータイプのLCR-1だけでなく、DCプラグタイプのLCR-2やDタップタイプのLCR-4、単三乾電池6本タイプのARRIFLEX用コネクターが付いたLCR-9Vなどのラインナップを用意しているので、用途に応じて選択することができる。

価格：¥6300(税込) 問い合わせ先：エヌ・イー・ピー 03(3263)6741 URL：<http://www.nepinc.co.jp/>